

| 出題分析  |                      |             |                      |
|---|----------------------|-------------|----------------------|
| 試験時間  | 90分                  | 配点          | 100点                 |
|   |                      | 大問数         | 4題                   |
| 分量(昨年比較)  | [ 減少 <u>同程度</u> 増加 ] | 難易度変化(昨年比較) | [ <u>易化</u> 同程度 難化 ] |
| <p>【概評】</p> <p>例年通り大問4題構成であり、Ⅰ～Ⅲは短答の記述式、Ⅳは論述式であった。Ⅰは史料問題、Ⅱは空欄補充問題、Ⅲはリード文にもとづくテーマ史問題、Ⅳは200字論述問題が出題され、原始から現代まで広く出題された。Ⅰにおいて、去年は5問出題された短文記述問題が出題されなかった。一方で、去年はなかった選択問題が、Ⅰ・Ⅲで1問ずつ出題された。</p> <p>Ⅰでは史料の読み取りが求められたため、苦戦した受験生もいたかもしれないが、設問文がヒントとなり解答できるものも多かった。Ⅱは知識があれば解答しやすい問題が多かった。Ⅲはリード文・設問文ともに丁寧に構成されており、解答しやすいものが多かったが、Cで表・グラフを用いた問題が初めて出題された。Ⅳでは、(2)で2014年以来11年ぶりに戦後からの出題がみられた。全体として判断に迷う問題が少なかったため、難易度は昨年より易化したといえる。</p> |                      |             |                      |

| 設問別講評 |  |   |     |
|-------|--|---|-----|
| 問題    | 出題分野・テーマ   | 設問内容・解答のポイント  | 難易度 |
| Ⅰ     | A 中世（『兵範記』より保元の乱）<br>B 近世（『通航一覽』よりレザノフへの申渡し）<br>C 近代（『回顧七十年』より斎藤隆夫の政治） | A～Cいずれも、ほとんどの受験生にとっては初見史料であろうが、設問を丁寧に読めば答えられる問題がほとんどである。(注)と設問文から解答の見当をつけて得点を積み重ねたい。<br>(1). やや難。資料集で確認しておきたい。(7). (注)より「彼の僉議」が白河殿での議定のことであること、その後の史料文中の「同じく武士を集めらる」から、保元の乱に勝利した後白河天皇の御所である「高松殿」を導きたい。(10). 鎖国下で対馬藩主宗氏を通じて交易を行った国。(15). やや難。のちの昭和天皇。(20). 史料中の「犬養健君」「父君の面影」から五・一五事件を想起できたか。 | 標準  |
| Ⅱ     | 古代～現代の雑題   | 去年は少し形式に変化がみられたが、1つの設問文に対して2つの語句が問われる従来の形式に戻った。空欄の前後を読めば見当のつくものも多く、高得点を目指したい。<br>ウ. 装飾古墳は福岡県竹原古墳など九州北部の後期古墳で集中的に出現した。奈良県高松塚古墳は装飾古墳のなかでも特に壁画古墳といわれる。   | 標準  |

| 設問別講評 |  |   |     |
|-------|--|---|-----|
| III   | A 中世（文化）<br>B 近世（政治）<br>C 近代（経済）                         | Aでは南北朝～室町時代の文化，Bでは江戸時代における「公儀」の解釈，Cでは石井孝『幕末貿易史の研究』より1865年の輸出入の表，大蔵省編『日本外国貿易年表』より1927年から1934年の輸出のグラフをもとに問われた。Cでは表やグラフからの出題で戸惑った受験生もいただろう。オ. やや難。引用史料を丁寧に読み取る。(13) (あ) 世界恐慌でアメリカの消費が縮小して貿易の重要な柱の一つであった生糸輸出も激減したことで，昭和恐慌へとつながっていった。(い) 1931年の金輸出再禁止によって円相場が下落し輸出が飛躍的に拡大した。 | 標準  |
| IV    | (1) 平城京の特徴<br>(2) 第二次世界大戦末期から1970年代初めまでの間の沖縄の人々が置かれた政治状況 | (1)藤原京との差異では宮城の配置や規模について，東アジアからの影響では唐の宮城を参考に建設されたことなどに触れておくことが必要になるが，教科書の知識で十分対応できる。<br>(2)この期間の状況のみでなく，沖縄の人々がどのように向き合ったかという説明が難しかっただろう。これは沖縄に関する政治動向に対する沖縄の人々の反応と解釈して，強制的接収に対する抗議活動や祖国復帰運動などについて言及しておきたい。  | やや難 |

#### 合格のための学習法

例年通り，70問の短答記述問題と2問の200字論述問題より構成されたが，近年の傾向として，記述すべき語句そのものはほとんどが標準的であり，論述のポイントに気づくことができれば高得点も目指せる。歴史事象に関係する用語の持つ付随情報（人名・地名・事件名・年号など）に精通することで，より多くの正解を導くことが出来るだろう。30点分の論述問題対策としては，徹底した教科書精読を通じて内容を習得しつつ，図説資料集も活用しながら歴史事項の対比・背景・原因・経過・影響などについて，主題から逸れずに200字でまとめる練習をしておこう。昨年はIV(1)で図版が，今年はIII Cで統計資料が使用されたことから，文化や社会，経済に関する内容においては，図版や統計資料にも目を慣らしておきたい。また，Iの史料問題とIVの論述問題では過去問演習が必須であり，演習を重ねて第三者に添削してもらおうとよいだろう。